

口先だけの 政治家はもういない！

そのだ市長は、「しがらみ」と対立候補者を批判しながら市長選挙を戦いました。しかし、そのだ市長の政治団体の収支報告書を見てみると、大村市内の公共事業を請け負った企業、大村競艇内でカフェを運営することが決まった社会福祉法人の理事や役員などから寄付金を受け取っています。あの市長選は何だったのでしょうか？

教育の格差をなくす!! バウチャー制度導入!!

生まれた瞬間に子どもたちの将来がある程度決まるなんておかしいと思いませんか？子ども達には平等に学べる環境を提供して行くべきです。これは子ども達だけの為の政策ではありません。子どもたちへの投資は、将来の自分たちへの投資でもあるのです！親の所得に応じてバウチャー券を発行し、水泳、そろばん、ピアノ、パソコン等の習い事や、学校以外でももっと学びたい子ども達の為に学習塾などにも、このバウチャー券を利用して通えるようにします。

グローバル人材の育成

外国人観光客の多い石川県では、グローバル人材の育成に力を入れています。幼児期はあらゆる言語を吸収できる言語臨界期です。木津幼稚園ではKissクラスという、終日外国人の先生が英語でコミュニケーションをとります。また金沢高専は国際高等専門学校へと姿を変え、高専から大学までの9年間一貫教育プログラムを導入。1, 2年生時のキャンパスでの標準語は英語で、3年次はニュージーランドにて1年間留学という大胆な改革を行い。AIが人間の代わりになるといわれる未来に備え、人間にしかできないスキルを育む教育をされています。私はセブ島での留学経験から、1コマ200円程度で英会話を受けることができる国と、ICTを活用し、英語を学びたくても、家庭の事情で出来ないご家庭のお子さんが小学校高学年次にオンライン英会話を無料にて受講することができる環境を整えることがコスト面的に考えても可能ではないかと考えます。

私たちの財産。それは人。

バリアフリー化の促進！

バリアフリー化とは子育て世帯も安心して子育てができる環境だと考えます。大村市内を見渡すと、完全なバリアフリー化とは程遠いものを感じます。高速バス乗り場では、急な階段と段差だらけです。公共交通機関であるバス停のバリアフリー化が遅れているというのは致命的だと思います。関係団体と協力し、これら公共交通機関利用者が安心安全に公共交通機関を利用できる環境を整えます。

企業誘致ではなく、地場産業を生かした起業家育成！

石川県輪島高校では、アントレプレナー同好会という部が存在します。これは子どもたちに、企画、商品開発、販売を実際に行わせ、起業家を育成されてます。石川県加賀市では起業家に一定の期間、一定の収入を支払う制度もあります。大村市でも、未来の雇用に繋げるため起業家育成を行う必要があると思います。

こども朝食堂の導入！

こども朝食堂の導入。わたしは、市役所にてフードバンクを開始し、それらを活用し、こども朝食堂を導入します。生活が困難な世帯の児童が、朝食をとらず、学習面でつまづく傾向がみられるため。これに対処いたします。民間の方々が行っている子ども食堂がありますが、本来であれば子どもの貧困対策は行政が率先して取り組むべき課題です。

<http://www.masataka-omura.com>



中村 まさたか

検索

ご意見・
ご相談は
お気軽に

このチラシに関するお問い合わせは、中村まさたか後援会事務所まで
〒856-0805 大村市竹松本町676-17
Tel: 080-6457-5110 Fax: 020-4624-8750
E-mail: info@masataka-omura.com

中村まさたかの見解を紹介します。

NEWS

NEWS拡大版第1号 2019年9月号外
発行/中村まさたか後援会事務所